

根室市議会議員 本田 俊治 様

会派名 市政クラブ

代表者名 波多 雄志

政務活動報告書

区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input type="checkbox"/> 研 修 ・ <input type="checkbox"/> 広 報 ・ <input type="checkbox"/> 広 聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会 議
活動テーマ・目的等	ロシア領事館訪問、引きこもり支援事業、若者支援、介護サポート、障がい者コミュニケーション条例 調査視察
期 間	令和2年2月12日（水）～2月14日（金）
参 加 者 氏 名	波多雄志、小沼ゆみ、工藤勝代
応 対 者	【 <u>在札幌ロシア連邦総領事館</u> 】総 領 事 マーリン・セルゲイ、 ／アタッシュ ダニロワ・オリガ 【 <u>札幌市子ども未来局</u> 】子ども育成部子どもの権利推進課課長 辻岡 博之、 ／育成・支援担当係長 菅原 純也 【 <u>公益社団法人さっぽろ青少年女性活動教会</u> 】Youth+センター（札幌市若者支援総合センター） 主任指導員 児玉 奈緒美、 さっぽろ若者サポートステーション総括コーディネーター山名 徹 【 <u>札幌市役所保健福祉局障がい保健福祉部</u> 】障がい福祉課在宅福祉係長唐嶋田智、事業調整担当係 岸 龍馬 【 <u>札幌市保健福祉局高齢保健福祉部</u> 】高齢福祉課高齢福祉係 長尾大平
場 所	札幌市子ども未来局／札幌市若者支援総合センター／ さっぽろ若者ステーション／札幌市役所
行 程	2月12日（水）根室市⇒中標津空港⇒千歳空港⇒札幌市 2月13日（木）札幌市調査視察（終日） 2月14日（金）札幌市⇒千歳空港⇒中標津空港⇒根室市
内 容 ・ 成 果 等	<u>ロシア領事館にて、昨年12月に赴任されたマーリン領事訪問</u> 「日露地域・姉妹都市交流年」である2020年についての期待や、近年のロシアと北海道の経済交流について、そして根室市の厳しい現状について懇談。 今年度より、根室市も姉妹都市交流の会議の参加を予定しており、交流が活発化、話題のひとつであり今後の期待へ繋がる。 <u>札幌市子ども未来局 ひきこもり支援事業について（若者対象外の事業内容）</u> 年齢による区切りのないひきこもり専門の一次相談窓口を設置。 委託先：公益財団法人北海道精神保健推進協会（札幌市白石区にある精神科ディケア専門施設『こころのリカバリー総合支援センター』内に窓口を設置（当初予算3,500万円、専門職コーディネーター2名）ひきこもり専門外来もあり、相談から外来、ディケアへ繋がるケースもある。 今回の視察で、ひきこもりの相談をうけた場合、根室市民であっても道が対応しているため、この相談施設に相談が可能であることを知

った。

また、同じ悩みをもつ人と出会い、安心して話せる場所を生み出す事業を平成30年より開始しており、当事者家族の拠点があることで、解決へ進む事業である事を実感した。

若者支援総合センター（若者サポートステーション）

「札幌市若者支援基本構想」をもとに若者の支援をしており、働くための一歩を踏み出したい、生活のリズムを改善したい、人と接するのが苦手、どこに相談すればよいか迷っている、若者に社会的コーディネーターとなる若者支援専門員が、地域の社会資源（学校、民間団体、行政機関等）を活用しながら、「社会的セーフティーネット」「若者同士の交流、仲間づくり」「社会参画」の三つの視点で若者の活動を支援している。

以前根室市にもあった青少年ホームにハローワークの機能と支援専門委員がサポートしてくれる体制がついており、今の時代だからこそ必要な施設だと感じた。根室市では青少年ホームは経費の問題で閉館した。同じように他の地域も青少年ホームが閉館した時代の建物を残し、若者のためのサポートを視点としたことが成果に繋がっている。

札幌市 介護ポイント事業について

65歳以上の方で要介護認定を受けていない方が対象で、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）介護老人保健施設、デイサービス、認知症グループホーム、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、認知症カフェなどボランティア（麻雀、囲碁、カラオケ、編み物、絵手紙等）活動の支援に参加するとポイント手帳にポイントが入る。札幌市社会福祉協議会ボランティア活動センターに委託されている。

根室市でも導入できる印象を持つ、ポイント手帳が励みになる仕組みがあれば、介護予防ともなり双方にとって良いものである。

札幌市 コミュニケーション条例について

平成29年12月1日施行『札幌市障がい特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例』

札幌市は市民16人に1人の割合で、障がい者手帳を所持している障がい者の4割に意思疎通の困難がある。

意識調査や当事者団体、支援者、学識経験者からの懇話会をひらき意見収集した、手話言語条例については「手話は言語である」という位置づけがあり、コミュニケーション条例とは別にすべきとの意見が出た、その他の委員会からは条例は1本にまとめ、すべての障がい者に平等な条例をとの意見が出た。

結果、手話の言語性を除き、全体に共通する「障がい者コミュニケーション促進」について条例化することとした。この点は特に手話の団体が「言語」であることへの強い意思であった。

今後の根室市におけるコミュニケーション条例制定への課題や取り組みに向けての参考となった。

根室市議会議長 本田 俊治 様

会派名 市政クラブ
代表者名 波多 雄志

政務活動報告書

区 分	<input type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input type="checkbox"/> 研 修 ・ <input type="checkbox"/> 広 報 ・ <input type="checkbox"/> 広 聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会 議
活動テーマ・目的等	北方領土返還要求中央アピール行動参加 街頭啓発（北方領土展）参加
期 間	令和元年11月30日（土）～12月 2日（月）
参加者氏名	小沼 ゆみ、工藤 勝代
応 対 者	「北方領土返還要求中央アピール行動」12月1日（日） 日比谷大音楽堂～根室市議会議員 16名参加 全国の返還運動関係者など約500人参加
場 所	日比谷大音楽堂→銀座周辺 約1.6キロ 新宿駅西口地下イベント広場
行 程	11月30日（土） 根室⇒中標津空港⇒羽田空港（東京） 12月 1日（日） 「北方領土返還要求中央アピール行動」参加終日 12月 2日（月） 羽田空港（東京）⇒中標津空港⇒根室
内容・成果等	<u>北方領土返還要求中央アピール行動</u> 今年で14回目を迎える「北方領土返還要求中央アピール行動」は元島民をはじめ、全国の返還運動関係者など約500人とともに日比谷大音楽堂から銀座周辺を約1.6kmにわたってシュプレヒコールをあげながら行進し、北方領土問題の早期解決を訴えた。 今年も話題となりニュースとして全国にアピールされている。 <u>街頭啓発（北方領土展）</u> 新宿駅西口地下イベント広場において「北方領土問題の歴史的経緯」「懐かしの島々」「北方の開拓者たち」等のテーマ別展示をはじめ、「北方四島との交流」など約100点のパネルを展示。 パネル展示を活用した「なるほど！なっとく北方領土クイズラリー」を実施しており、根室管内1市4町の協力を得て、自慢の特産品の販売も行う人気のイベントであり応援するための視察。 新宿西口イベントは、参加者から根室からの販売品の送料や場所等の課題についても伺った。

根室市議会議長 本田 俊治 様

会派名 市政クラブ
代表者名 波多 雄志

政務活動報告書

区 分	<input type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 研 修 ・ <input type="checkbox"/> 広 報 ・ <input type="checkbox"/> 広 聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会 議
活動テーマ・目的等	北海道大学公共政策大学院 (HOPS) 2019 地方議員向けサマースクール 北海道における地域防災力の向上に向けた課題と対応
期 間	令和元年8月21日(水)～8月22日(木)
参加者氏名	工藤 勝代
応 対 者	主催：北海道大学公共政策大学院 1日目 座学 岡田 成幸 北海道大学広域複合災害研究センター特任教授 岡本 正 弁護士・岩手大学地域防災研究センター客員教授 辻井宏文 北海道総務部危機対策局長 2日目ケーススタディの検証 D班 北海道大学公共政策大学院専任講師 武藤 俊雄
場 所	北海道大学公共政策大学院
行 程	8月21日(水) 根室⇒札幌(自家用車使用) 12:45～18:15 サマースクール参加 8月22日(木) 札幌⇒根室(自家用車使用) 9:00～12:00 サマースクール参加
内容・成果等	「北海道における地域防災力向上に向けた課題と対応」 2018年9月に発生した胆振東部地震においては、42名の犠牲者が出るとともに北海道全域において数日間停電となる大規模な被害が生じ、根室市も大きな影響を受けた。また、近年は気象現象の変化に伴い、北海道においても豪雨被害が頻発し、地域防災力の向上が喫緊の課題となっている。地域防災力の向上のための課題を改めて見直し、今後どのような取り組みが必要かを検証した。 岡本講師の「災害復興法学」という被災後の生活再建のために、自然災害から身を守るのみならず、生活を再建させるための知恵を蓄えることの重要性を知り根室市に提案した。結果、リーフレット「被災後の生活再建のてびき」の早期準備が行われた。今後知識の備蓄としての講演など検討がなされた。

根室市議会議長 本田 俊治 様

会派名 市政クラブ
代表者名 波多 雄志

政務活動報告書

区 分	<input type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 研 修 ・ <input type="checkbox"/> 広 報 ・ <input type="checkbox"/> 広 聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会 議
活動テーマ・目的等	幼児教育・保育の「無償化」規制緩和について地方議員セミナー
期 間	令和元年 8 月 7 日（水）～ 8 月 9 日（金）
参加者氏名	工藤 勝代
応 対 者	主催：保育研究所 阿部一美（赤ちゃんの急死を考える会・保護者） 村山祐一（元帝京大学教授／保育研究所所長） 実方伸子（保育研究所） 木田保男（全国学童保育連絡協議会会長）
場 所	全国町村議員会館 東京都千代田区一番町 25 番地
行 程	8 月 7 日（水） 根室⇒中標津空港⇒羽田空港（東京） 8 月 8 日（木） 幼児教育無償化、保育行政研修（東京）終日 8 月 9 日（金） 羽田空港（東京）⇒中標津空港⇒根室
内容・成果等	<p>2019年10月から実施される幼児教育・保育の「無償化」に向けて準備に追われている自治体は、関連案件を9月議会にかけることが考えられることから、根室市民に支持される保育行政を正しく学び、制度の理解を深め、地域の課題について取り組める準備とした。</p> <p>この研修の成果として新たな負担となる「副食費」の個人負担について早期に担当課と意見交換する機会が生まれた他、根室市は他自治体の先進的事例となる<u>保育所（園）・認定こども園（保育利用）に通う世帯については、主食費を除く「副食費」を無料化することが決まった。</u></p> <p>研修内容</p> <ol style="list-style-type: none">1. 幼児教育・保育の「無償化」と自治体の課題2. 各地の自治体課題、先行自治体状況報告3. 新たな負担発生について4. 学童保育（放課後児童クラブ）の状況と課題

根室市議会議長 本田 俊治 様

会派名 市政クラブ
代表者名 波多 雄志

政務活動報告書

区 分	<input type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input type="checkbox"/> 研 修 ・ <input type="checkbox"/> 広 報 ・ <input type="checkbox"/> 広 聴 <input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会 議
活動テーマ・目的等	丸山穂高衆議院議員の言動に対する抗議・要請行動
期 間	令和元年5月30日（木）～6月1日（土）
参加者氏名	工藤 勝代 千葉 智人
応 対 者	衆議院議長、衆議院運営委員長、自民党幹事長代行 内閣府特命担当大臣（沖縄・北方対策） 衆参両沖縄及び北方問題に関する特別委員会委員長 道内選出国會議員
場 所	衆議院議長室、 内閣府特命担当大臣室、 衆参両沖縄及び北方問題に関する特別委員会委員長室 衆参議員会館
行 程	5月30日（木） 根室⇒中標津空港⇒羽田空港（東京） 5月31日（金） 抗議・要請活動（終日） 6月1日（土） 羽田空港（東京）⇒中標津空港⇒根室
内容・成果等	<p>衆議院議長、衆議院運営委員長、自民党幹事長代行、内閣府特命担当大臣（沖縄・北方対策）、衆参両沖北委員長、道内選出国會議員などに決議文を手渡し、地元としての強い抗議の意思等を伝えた。</p> <p>衆議院議長からは院を代表して謝罪があり、歴史的にも北方領土返還の運動を始められ、先頭に立ってやってきた根室の市議会皆様のお声を大変重く受け止め、何らかの結論を出さなければならないとの発言があった。</p> <p>内閣府特命担当大臣（沖縄・北方対策）からは、ビザなしの歴史的な経過などの話もあり、それをすべて壊してしまう行為で憤りを感じるという発言もあった。</p> <p>また訪問先では、それぞれに事の重大性、根室市民や元島民の怒りを理解していただき、また、今後のビザなし交流や外交交渉に影響がないように努力するとの発言もあったところであり、今回の抗議・要請活動の目的に照らし、一定の成果を得ることができた。</p>